



日本保全学会

東北・北海道支部
ニュースレター No.33

2025.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8577

仙台市青葉区片平 2-1-1

東北大学 流体科学研究所

内一研究室内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html

講習会「破面の見方と事故事例」のご報告

(1) これまでの経緯

本講習会は日本保全学会東北・北海道支部の主催により、野口徹先生（北海道大学名誉教授、野口材料技術コンサルティング）を講師としてお招きし、発電所の現場技術者、学生等を対象に破損解析の基礎から応用までを座学と実習により詳細に解説して頂くものです。平成23年に開催して以来、今回で17回目となります（表1）。これまで絶大な好評を得ている講習会です。

表1 本講習会の開催実績

No.	年度	開催日	場 所	参加人数 (内学生数)	主な参加者所属
1	H23	11月 1日 (座学)	東北大学 量子エネルギー工学専攻 量子大講義室	37名 (14名)	東北電力、東北大学
2		11月 2日 (実習)	東北大学 量子エネルギー工学専攻 量子第2講義室	29名 (9名)	
3	H24	2月15日	北海道電力㈱ 原子力PRセンター「とまりん館」会議室	32名	北海道電力
4		2月28日	中国電力㈱ 小野クラブ4F大会議室	20名	中国電力
5	H25	11月 7日	東北電力㈱ 本店ビルID会議室	23名 (6名)	東北電力、東北大学
6	H26	8月26日	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所	21名	中部電力
7	H27	3月29日	北海道電力㈱ 泊原子力発電所	25名	北海道電力
8	H28	1月25日	東北大学 流体科学研究所 2号館 5階大講義室	21名 (3名)	東北電力、東北大学
9		10月13日	東北大学 流体科学研究所 2号館 5階大講義室	15名 (4名)	
10	H29	3月13日	北海道電気会館 501会議室	14名	北海道電力
11		10月 3日	関西電力㈱ 原子力事業本部 1階集会所	23名	関西電力
12	H30	3月 7日	九州電力㈱ 電気ビル本館	25名	九州電力
13		3月26日	東北大学 流体科学研究所 2号館 5階大講義室	13名 (4名)	東北電力、東北大学
14	R1	10月13日	東北大学 流体科学研究所 2号館 5階大講義室	16名 (4名)	東北電力、東北大学
-	R1	3月 5日	東京電力HD㈱ 柏崎刈羽原子力発電所事務本館	-	東京電力
15	R4	3月23日	東京電力HD㈱ 柏崎刈羽原子力発電所事務本館	25名	東京電力
16	R5	9月21日	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所	22名	中部電力、中部プラント
-	R6	3月21日	北陸電力㈱ 志賀原子力発電所	-	北陸電力
17	R6	12月 5日	北海道電力㈱ 泊原子力発電所	19名	北海道電力、日本製鋼所M&E
18	R7	3月18日 (予定)	北陸電力㈱ 志賀原子力発電所	? 名	北陸電力

(2) 概要

令和6年12月5日（木）、本講習会を北海道電力株式会社 泊発電所で開催したところ、北海道電力および日本製鋼所M&Eから合計19名の受講者の方々が参加されました。

午前は、破損解析の進め方や、延性・脆性破壊あるいは疲労破壊など、各破壊形式に見られる破面について、野口先生の実体験を交えながらの座学が行われました。午後からは、受講生が3グループに分かれ、各グループに異なる実機の破面サンプルが配布され、それらの破面等を観察しながら破壊原因を特定する実習を行い、破損解析の実務に関する理解が深まりました。



<野口 徹 先生>



<座学の様子>



日本保全学会

東北・北海道支部
ニュースレター No.33

2025.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8577

仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学 流体科学研究所
内一研究室内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html



<実習の様子>

受講生は、本講習会でしか見ることのできない貴重なものから身近なものまで多種多様な破面サンプルを実際に手にして、破壊原因の特定に挑戦しました。初めのうちは苦戦していましたが、野口先生から各破面サンプルの破壊原因等について都度、丁寧な解説を受けることで、徐々に各破壊形式と破面の関係についての理解が深まり、最後に受講生からは大変有意義な講習であったとの感想が聞かれました。

(3) あとがき（報告者の感想）

野口先生に同行し、主催者側として講習会に参加させて頂きました。

野口先生のお話はどれも新たな気付きを与える示唆に富んだ内容で、非常に有意義だと感じました。単に破面を見るだけに留まらない、事象全体をいかに的確に把握・評価するか、その重要性を説いておられ、大変勉強になりました。

主題である破面の見方については、野口先生の知見・ノウハウを凝縮したような指導が続き、(2)概要にあるとおり、初心者の方でも社内の「破面通」になれると思います。受講後には修了証明書も授与されます。

皆様も機会がありましたら、ぜひ参加されることをお勧め致します。

(東北・北海道支部 幹事、企画運営委員会 副委員長 堂崎浩二 (東北大学))